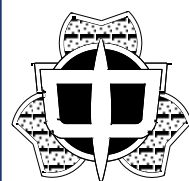


ふれあい

尼崎市立南武庫之荘中学校新聞
令和 4 年 2 月号
第 27 / 244 号 Tel.6436-2241
<http://www.ama-net.ed.jp/school/j17>
文責：屋敷 成治



〈校訓〉
*考える人になろう
*助け合う人になろう
*たくましい人になろう

旅立ちの日に

最初に緊急事態宣言が出されてから、もう2年が経とうとしています。

3年生にとっては、中学校生活の大半をコロナと闘いながら過ごしたことになります。失ったこともあります、手に入れたこともあったと思います。どんな時も保護者や地域の方々、そして先生方が皆さんの学校生活を支えてくれたことを忘れないで



ください。このコロナ禍の状況で、文化発表会や体育大会、修学旅行、トライやる、マラソン大会、50周年記念式典など、日本中のどの学校よりも熱心に取り組んだと自負しています。



卒業式まで残すところ後10日余りになりました。「あっという間に3年間の過ぎた」という人は、きっと充実した日々を送ることができたのでしょう。中学校における卒業は、義務教育9年間のすべての課程を修了したということです。今後の進路は、自分の責任でしっかりと歩んでください。これから皆さんが進んでいく未来は変化が激しく、どんな社会になっているか予想ができません。こんな時代だからこそ、「将来にしっかりと自分のビジョンをもち、自ら進んで学び続け、自ら課題を見つけ、仲間と協働して解決する力」を身に付けるように頑張ってください。そして何よりも、心身ともに健康で他人から愛される人になってください。



脳の健康や老化について研究されている東京大学池谷教授の講演会で、「頭がいいとか賢いということは、一体どういうことなのか」ということを科学的に考え述べておられます。

その中で、知能を支えるのは、問題を解決する力「論理力」、相手を理解して物事を伝える「言語力」そして、やる気やモチベーションといった「熱意」だそうです。教授が言われる熱意とは、「これ、面白いなあ。もっと知りたいなあ」という知ることを楽しむ好奇心だそうです。また、学習する最初のうちに、様々な失敗（同じ失敗はだめだが）をした方が、最終的に早く学習が進んでいくそうです。



コロナ禍で何度も計画を立て直す経験をしたことは、決して無駄なことではありません。これからどのような世の中が待っているか、予想することは困難ですが、色々なことに好奇心を持ち、楽しんで学び続けていってほしいと思います。

学校評価アンケート



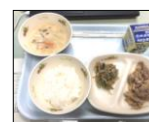
最近、学校でも各種アンケートが多くなってきて、教育委員会にも精選をお願いしているところなのですが、皆さん、いつもご協力ありがとうございます。

生徒アンケートでは、「学年、クラスの仲が良い」「決まりを守る」「あいさつが良くできる」「いじめを許さない」「相談しやすい先生がいる」「生徒会、部活動が活発」「授業がよくわかる」「防災訓練をまじめに取り組む」「毎朝ご飯を食べる」など多くの項目について、90%前後の生徒が、「よくあてはまる」や「ややあてはまる」と答えています。ただし、「学校に来るのが楽しい」は78%なので、本校教育目標の「やらされる」から「やってみたい」と生徒が思うわくわくする授業や活動が行われる学校作りを来年度も推進していきます。

保護者アンケートにつきましても、おおむね80%以上の方にプラスの評価をいただいておりますが、風紀に関するご意見がいくつかありましたので、生徒会と育友会の代表、生徒指導担当を中心に、引き続き見直しを随時行っています。また、コロナの



休校時にリモート授業を行ってほしいというご意見がありました。学習ドリルを充実させていく一方で、効果的なリモート授業の配信についても研究を進めていきます。



さらに、HPなどの発信や保護者の意見をよく聞く場面の設定が少ないとのご意見もありました。学年通信やミマモルメ、端末を使った連絡などを行いましたが、コロナ禍で家庭訪問や授業参観後の懇談が実施できなかったため、学級通信などの情報発信がいつもより多く必要だったと考えています。また、挨拶については、生徒が教師に挨拶しても、教師がしていない場面があるとのご指摘がありました。真摯に受け止め、率先垂範を心がけていきます。最後にトイレが汚くて使いづらいとのご意見がありました。現在、東側通路のトイレを洋式化し、内装の改装等を行っています。



ちょっといいお話

日々コロナの感染におびえ、蔓延防止が延長され、気持ち減入ってしまいます。先日、学校の東門に白い袋が掛けてあり、中にお手紙とチューリップの球根が入っていました。手紙には、『近所の者です。チューリップの球根が余りました。まだ間に合うと思います。良ければ使ってください』と書かれていました。こんな世の中だから、ついつい他人の批判をしたり、不満や悪口を言ったりしてしまうこともあります。ちょっとした気配りや思いやりの行動が、私たちにほっとした幸せな時間を与えてくださいます。

毎年、春になると東門や西門、中庭にたくさんのチューリップが咲きます。門の前で写真を撮ったり、道行く人が「きれいですね」と声を掛けてくださいます。今春もきっと頂いた球根も花を咲かせ、多くの人を楽しませてくれます。そのような光景をご覧になり、球根を分けてくださった方にも喜んでもらえることでしょう。「人はよい行いをすればよい報いがある」といわれていますから。

